

ぴちインフォ

< 予防接種 > 2008・11



予防接種とは？

私たちの周りには、様々なウイルスや細菌が存在しています。それらが体の中に入ると、私たちの体に備わっている防御システムが働きウイルスや細菌をやっつけようとして熱が出たり炎症がおきたりします。

そして、ウイルスや細菌に感染するとそれぞれのウイルスや細菌に対して抗体というものが作られます。この抗体が十分に作られると、次に同じウイルスや細菌が体の中に侵入して来ても発症を防ぐことができ、この体の防御システムを免疫といいます。

細菌やウイルスから作られたワクチンを接種（予防接種）し、あらかじめ抗体を作ることによって免疫をつけ、感染を防いだり発症時の症状を軽くしたりすることができます。



そろそろインフルエンザの季節なので今回は
インフルエンザの予防接種についてお伝えします

インフルエンザの予防接種

[時期]

インフルエンザは1月～3月を中心に流行します。ワクチンを接種してから効果が出るまでに2週間程度かかるので12月中旬までにワクチン接種を受けることが勧められています。

[対象]

65歳以上の方や60～64歳で特定の機能に障害があり生活が制限される方は予防接種法により定期予防接種の対象となっていますが義務ではありません。

また、予防接種法によって対象とされていなくても受けることができます。

[回数]

1～2回

13歳以上では過去にインフルエンザに感染して免疫が少しずつ出来てくると考えられるため、接種回数は1回でよいとされています。13歳未満の場合は2回接種することもあり間隔は1～4週とされています。

[費用]

予防接種は健康保険が適用されないため、原則全額自己負担となります。予防接種法に基づく定期接種の対象者については、市町村により費用が一部負担されるところもあるので保健所や市役所、医療機関などで確認してください。

☆インフルエンザに限らず予防接種を受けるときは健康状態をチェックし
お医者様とよく相談して受けるか否かを決めましょう。